

公益社団法人日本補綴歯科学会

JPS 将来構想ワークショップ報告書

2025 年 3 月 22 日・23 日



公益社団法人 ほてつ 日本補綴歯科学会
Japan Prosthodontic Society

対 象 ：公益社団法人日本補綴歯科学会 理事，委員長，監事

主 題 ：「日本補綴歯科学会の将来に必要な施策」

一般目標：日本補綴歯科学会の将来的な発展を促進するために，本会が進める事業について検討を行い，必要な施策を作成する。

日 時：2025 年 3 月 22 日(土)・23 日(日) 1 泊 2 日

場 所：友愛会館 会議室（〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 20 番 12 号）

出席者（計 15 名）：

理 事 長	窪木 拓男（岡山大）2 日 A
副理事長	大久保 力廣（鶴見大）2 日 B
常務理事・総務担当	小見山 道（日大松戸）2 日 AB
常務理事・学術委員会委員長	澤瀬 隆（長崎大）1 日 A
理事・JPR 編集委員会委員長	江草 宏（東北大）2 日 B
理事・編集委員会委員長	池邊一典（大阪大）2 日 A
理事・財務委員会委員長	西村正宏（大阪大）1 日 B
理事・教育問題検討委員会委員長	築山能大（九州大）2 日 A
理事・修練医・認定医・専門医制度委員会委員長	鮎川保則（九州大）2 日 B
理事・学会連携委員会委員長	近藤尚知（愛院大）2 日 A
理事・用語検討委員会委員長	小林琢也（岩手医大）2 日 B
理事・研究企画推進委員会委員長	笛木賢治（科学大）1 日 A
理事・特命委員会 I 委員長	前川賢治（大歯大）2 日 B
監事	馬場一美（昭和大）1 日 A
監事	村田比呂司（長崎大）2 日 AB

統括（世話人）：小見山 道

22 日 A グループ：タスクフォース（TF）：窪木 拓男、馬場一美

澤瀬 隆、池邊一典、築山能大、近藤尚知、笛木賢治

22 日 B グループ：タスクフォース（TF）：大久保 力廣、村田比呂司

江草 宏、西村正宏、鮎川保則、小林琢也、前川賢治

23 日：タスクフォース（TF）：窪木 拓男、大久保 力廣、村田比呂司

江草 宏、池邊一典、築山能大、鮎川保則、近藤尚知、小林琢也、前川賢治

○事前課題

会員アンケートを読み、各自で本会の課題の検討を行った。

○持ち物：パソコン

グループワークは、Google ドキュメント、Google スライドを利用した。

ワークショップ日程表（案）

3月22日（土）1日目

15：30	開場 （理事会は15時終了予定。理事の移動が完了次第、開始）	
16：00 （30分）	将来構想・会員増検討対策WG 合同セッション 開会の辞・開催趣旨説明：小見山 道 総務担当理事 本会の現状と将来構想について（仮題）：窪木 拓男 理事長	
16：30 （5分）	ワークショップ説明 ワークショップの説明 小見山 道総務担当理事	
16：35 （45分）	グループワーク1 アンケート結果を振り返りながら、KJ法でJPS将来構想の重要項目の列举と重要性和緊急性の2次元展開する Aグループ TF：窪木 拓男、馬場一美 リーダー：澤瀬 隆 書 記：築山能大 発 表：笛木賢治	グループワーク1 アンケート結果を振り返りながら、KJ法でJPS将来構想の重要項目の列举と重要性和緊急性の2次元展開する Bグループ TF：大久保 力廣、村田比呂司 リーダー：江草 宏 書 記：西村正宏 発 表：鮎川保則
17：20 （10分）	休 憩	
17：30 （20分）	全体セッション 各グループからの発表（各5分） 全体討議（10分）	
17：50 （70分）	グループワーク2 全体討議を踏まえて、今後の短期計画、中期計画における優先事項を決定する Aグループ TF：窪木 拓男、馬場一美 リーダー：近藤尚知 書 記：笛木賢治 発 表：澤瀬 隆	グループワーク2 全体討議を踏まえて、今後の短期計画、中期計画における優先事項を決定する Bグループ TF：大久保 力廣、村田比呂司 リーダー：小林琢也 書 記：前川賢治 発 表：鮎川保則
19：00 19：20	休憩 ホテル前集合。情報交換会会場へ移動（ホテルから徒歩6分）	
19：30 （120分）	将来構想・会員増検討対策WG 合同セッション 情報交換会 『青いイタリアン』 東京都港区芝大門2-13-1 滝沢ビル 2F（050-5456-7176）	

3月23日（日）2日目

8：50	開場
9：00 (30分)	全体セッション 各グループからの発表内容の説明（各10分） （発表者は、グループワーク2の発表者） 討論（各10分）
9：30 (50分)	グループワーク3 短期計画、中期計画（案）の作成 TF：窪木 拓男、大久保 力廣、村田比呂司 リーダー：池邊一典 書 記：前川賢治 発 表：江草 宏
10：20 (10分)	休 憩
10：30 (60分)	将来構想・会員増検討対策WG 合同セッション ①将来構想WGからの発表 各グループ10分 ②会員増検討対策WGからの発表（発表は、グループワーク3の発表者） 各グループ10分 ③全体討議
11：30 (30分)	総括：窪木 拓男 理事長 閉会の辞：大久保 力廣 副理事長
12：00	散会（昼食配布）

JPS将来構想

「国民に尊敬される補綴歯科専門医を目指して」

短期計画（２年）

- ・「補綴」の啓発（大学内→国民へ）
- ⇒会員ニーズの把握/分析
- ⇒世の中への「専門性＋ワークライフバランス（インセンティブとして）」イメージの認知
- ⇒専門医の優位性に関する情報提供

【専門医制度】

専門医の再定義：何か違うのか

- ⇒主観的、客観的評価の違いを検査値で示す。
 - まずは、専門医ケースプレゼン難症例をDB化、症型分類/難易度判定
- ⇒検査/高度な治療は専門医にという空気を醸成
 - 専門医の実力を示すためのエビデンス/臨床研究を実施
- ・専門医制度について分からない、制度について情報共有する場が必要
- ⇒わかりやすいコンテンツ作成（漫画等）
- ・資格に対する意識づけが広まっていない
- ⇒補綴医のキャリアパスの作成⇒（ポンチ絵等で表現し視覚化する）
- ・DDSのあとに専門医Diploma的な略称を付けられるようにできないか？
- ⇒専門医委員会で検討実施

【臨床（制度）】

- ・学会としてわかりやすい専門医取得のロードマップ提示

【教 育】

卒前教育の充実

補綴を目指す学生を増やす

卒後教育の充実

- 補綴学教室に入り専門医を目指す
- 臨床技術向上のためのシステムづくり
- 専門医の価値を高め退会を防止する
- ・技術を提供する場が少ない
- ⇒ハンズオンの実施
- ・きちんとしたコースを作る（クオリティのあるもの）
- ・高くてもいい、White cross の補綴学会バージョンをつくる
- ⇒1 理事 1 コンテンツ作成

【学術（研究）】

- ・政策につながるような研究、厚労省科研をとれるような研究が必要（草津研究に続くような研究）
- ⇒特命委員会の設置
- ・政策と学術をつなぐように戦略的に

【組織運営】

- ・ダイバーシティ（DEI）が出来ていない

- ・若手、開業医、歯科衛生士、歯科技工士の理事も必要

中期計画（４年）

【専門医制度】

- ・教育の充実を！（教育コンテンツの充実を！海外、ITIのような）
- ・受ける側のゾーン（レベル）を分かりやすくする（Back to the basicのような）
- ・初心者向け、中級向け、上級向けのコンテンツを分けてプログラムを作してほしい
- ・大学外の専門医活用（研修施設乙）

【臨床（制度）】

- ・インセンティブがない（診療報酬）→そもそも無理
- ・日本口腔顔面痛学会が主催しているような、精密触覚検査の講習会をできるようにする（補綴学会は、咀嚼障害の検査でとりに行くのが良いのでは？）
- ・保険をキープしながら如何に自費の領域を広げるか
- ・収入増
保険に頼らない治療：専門医が実力の証明→働き方改革work-life balance

【教育】

卒前教育の充実

補綴を目指す学生を増やす

卒後教育の充実

補綴学教室に入り専門医を目指す

臨床技術向上のためのシステムづくり

専門医の価値を高め退会を防止する

【学術（研究）】

魅力ある臨床研究

重点領域を設定：バイオ/データサイエンス

【支部学術大会】

- ・支部による違い、不統一性
- ・学術大会の魅力を高める！

【組織運営】

- ・ダイバーシティ（DEI）の実施
- ・若手、開業医、歯科衛生士、歯科技工士の理事も必要